

事業所における自己評価結果（公表）

公表：2021年3月22日

事業所名 かるがも園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	②	職員の配置数は適切である	○		職員の配置数は、基準以上の配慮をしています。その日の出席人数や状態に応じて、シフトを組んで体制を整えています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		座る場所をマットや線で視覚的に示しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日、コロナ対策として換気・掃除・消毒を行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	△			業務目標の設定、情報共有について今後も検討し、改善できるよう努力いたします。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		2年前より公表制度に則り、事業所の評価とともに保護者の方の意向も把握し、業務改善につなげております。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		法人のホームページ上に公開しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている				第三者評価機関における評価は行っていません。今後の検討課題といたします。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		今年度はオンライン研修に参加いたしました。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントシート・フーズシートを用いて客観的に分析し、職員間で共有した上で計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化	○		津島市の事業所間	

	されたアセスメントツールを使用している			で共通のツールと発達検査票を使用しております。	
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		津島市の事業所間で作成した計画表を使用し、1人ひとりに合わせて具体的な支援内容を設定しております。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議で、子どもひとりひとりの様子を職員間ですり合わせたくうえでプログラムを立案しております。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		現在の子どもに興味や発達段階から活動を設定するようにしています。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別療法での様子と集団での様子をすり合わせ、計画を作成しています。	個別療法と職員との情報共有がより充実できるよう、さらに努力を検討したいと考えております。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に打ち合わせ用紙にその日の活動予定、子ども様子を記入し、その上で職員間で話し合いをしています。予測されうることを想定しながら、職員の役割分担を決めています。状況により臨機応変に役割を交代しながら行えるように打ち合わせをしています。打ち合わせに参加できない職員がいた場合も、適宜情報共有ができるようにしています。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日職員間で振り返りを行っています。支援の検証、改善を日々行い、職員間で共有しています。	職員間の情報共有について、より正確に行い、次の療育に活かせるような方法をさらに検討してまいります。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人記録及び日誌の記録を毎日行って	個人記録の項目などについて、必要に応じて検討を重ねてまいり

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携				おります。その日の反省を次に活かせるようにしています。	ます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	定期的モニタリングを行い(6ヶ月に1回)、見直しを行っています。	ケース検討会議、モニタリングなどの時間の確保について、よりスムーズな方法の検討を行っています。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	園長、主任始め、その都度ふさわしい者が参画しております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	子どもとその家族に対して、健康推進課の母子保健の保健師や子育て支援課、学校教育課、医療機関との連携や情報共有を常に行っています。	より質的な向上を目指し、また、青い鳥医療療育センターによる療育支援事業の場や、連携機関会議に出向き、津島市の連携支援体制の中で、質的な連携をより図れるように努力いたします。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	連携先の職員に、親子の様子を見に来てもらい、必ず懇談を行うなど、具体的な情報共有・相互理解を図っています。	
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	ひとりひとり就学相談、学校見学、懇談に職員が付き添っております。子どもの状況や支援内容等を文章化したものをもってサポート会議に参加しております。学校の先生方にも療育の様子を見学してもらい、青い鳥医療療育センターによる療育支援事業で移行に向けて情報共有、相互理解を図っております。		

保護者への説明責任等	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		青い鳥医療療育センターによる、愛知県、療育支援事業を年4回受けています。	
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		保護者からの要望がありましたら、今後検討をしています。
	㉒	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		津島市の総合支援協議会の運営会議に参加しています。発達支援部会のメンバーとして参加しています。	
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		子どもの状況について、保護者にしながら状況確認、共通理解を行っております。	
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		作業療法士・言語聴覚士・公認心理師による保護者のグループワークを行っています。	
	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		入園(契約時)に行っています。利用者負担については発生した都度説明を行っています。	
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者からの丁寧な聞き取りの上、ガイドラインに基づいた計画を立て、読み合わせをしながら、丁寧な説明を心がけています。	
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		園長面談や担当職員の聞き取りの時間を定期的に設定しています。また、状況に応じて随時面談も行っております。	
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今年度は、父母の会とファミリー交流会を各月に開催いたしました。	
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		いつでも相談ができるよう体制を整えています。	
㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事	○		年間予定表、毎月		

	予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			園だよりを発行しております。行事の目的や予定や記載し、説明をしながらお渡ししています。	
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類等は厳重な保管をしています。	
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		実物や絵カードなどのツールを使い、言葉かけなど常に配慮しています。保護者とはメモなど文字を使った方法を使用しています。	
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		新型コロナ感染予防のため今年度の開催は中止しました。	
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		緊急 AED 研修を行っています。法人では BCP 計画に基づいたマニュアルを作成中です。	今後マニュアル作成等、順次行っています。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的な避難訓練（火事・地震・不審者など）を行っています。	
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			今年度は新型コロナ感染予防のため、飲食提供は行っておりません。	
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		決められた書式を使って、随時行っています。	
	④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人で行っています。	法人でマニュアルを作成し、研修を予定しております。
	④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			身体拘束をした例はありません。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。